

# 「原村住民アンケート結果」

平成26年12月

原 村

# 目次

<b>第1章 アンケート調査概要</b> .....	<b>3</b>
1. 調査目的.....	3
2. 調査概要.....	3
2-1. 調査対象.....	3
2-2. 調査方式.....	3
2-3. 調査期間.....	3
2-4. 回収結果.....	3
2-5. 調査内容.....	3
2-6. 集計、結果整理について.....	3
<b>第2章 アンケート調査結果</b> .....	<b>4</b>
1. 回答者属性.....	4
2. 原村の暮らしやすさについて.....	6
2-1. あなたは、これからも原村に住み続けたいと思いますか。.....	6
2-2. 住み続けたい理由、できれば村外へ移りたい理由.....	7
3. 原村の現状と今後の取り組みについて.....	8
3-1. 現状と今後の重要度総括.....	8
3-2. 生活の快適さ・便利さについて.....	10
3-3. 安全性について.....	12
3-4. 健康や福祉について.....	13
3-5. 子育て支援について.....	14
3-6. 教育や文化について.....	15
3-7. 産業について.....	16
3-8. 地域生活について.....	17
3-9. 行政経営について.....	18
4. 「日本で最も美しい村」連合への加盟について.....	19
4-1. 原村が「日本で最も美しい村」連合に加盟することについてどう思いますか。..	19
5. 住民の皆さんと役場の関わり方、村づくりについて.....	21
5-1. あなたは、村からどのような内容の情報がほしいですか。.....	21
5-2. あなたは、村からの情報伝達手段として、どのようなものを充実していくべきだと思 いますか。.....	22
5-3. あなたは、どのような形で村づくりに参加したいと思いませんか。.....	23
5-4. 村づくり活動についてお聞きします。何らかのグループや組織に加わって、村づく り活動に参加していますか。.....	24
5-5. あなたは、住民がまちづくり活動に参加していくために、どのような条件が必要だ と思いませんか。.....	26
6. 村の行財政について.....	27
6-1. 財政が厳しい中でも自立した村づくりを進めていくため、どんな取り組みが必要だ と思いませんか。.....	27

# 第1章 アンケート調査概要

## 1. 調査目的

平成28年度を初年度とする「第五5次原村総合計画」の策定にあたり、住民が、身近な生活環境や村のことについてどのような意識を持っているのかを調査し、今後取り組むべき施策を検討するための基礎調査として実施しました。

## 2. 調査概要

### 2-1. 調査対象

原村に在住する満18歳以上の2,000人（住民基本台帳から無作為抽出）

### 2-2. 調査方式

郵送による配布及び回収（アンケートは無記名回答）

### 2-3. 調査期間

平成26年10月1日（水）から10月20日（月）

※10月31日消印分までを有効回答とした

### 2-4. 回収結果

（1）発送数	2,000人
（2）回収数	720人（36.0%）
（3）有効回収数	718人（35.9%）

※有効回収数は、回収したが記入のない（または少ない）調査票を除いた集計対象数。

### 2-5. 調査内容

- ・ 回答者属性について
- ・ 原村の暮らしやすさについて
- ・ 原村の将来について
- ・ 原村の現状と今後の取り組みについて
- ・ 「日本で最も美しい村」連合への加盟について
- ・ 住民と役場の関わり方、村づくりについて
- ・ 村の行財政について
- ・ 村づくりについての提言ほか（自由記述）

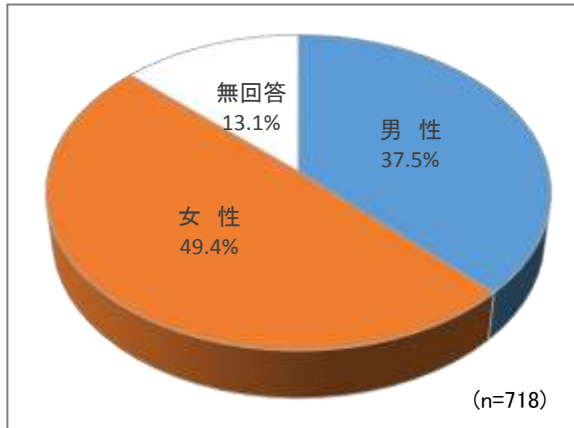
### 2-6. 集計、結果整理について

- ・ 集計結果（グラフや表）については、回答数に対する比率（%）を示していますが、小数点以下第2位を四捨五入して算出しており、合計が100%にならない場合があります。
- ・ 設問毎の有効対象数は、（n=000）と表示しています。
- ・ 設問毎の無回答は対象から除いて整理しています。

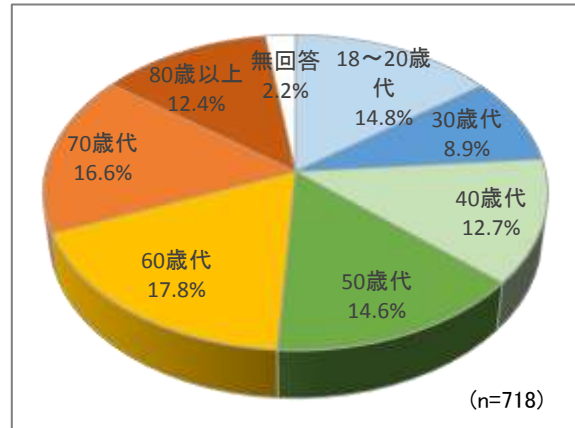
## 第2章 アンケート調査結果

### 1. 回答者属性

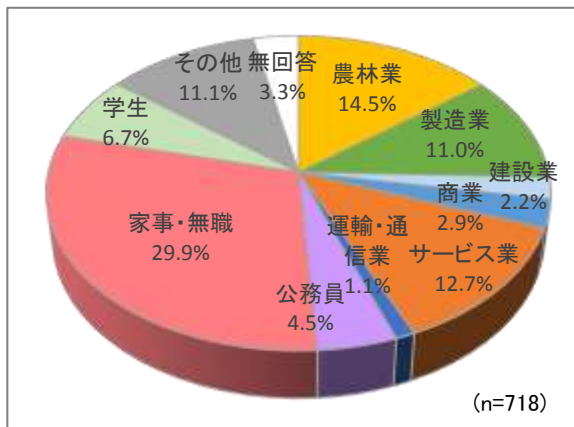
(1) 性別



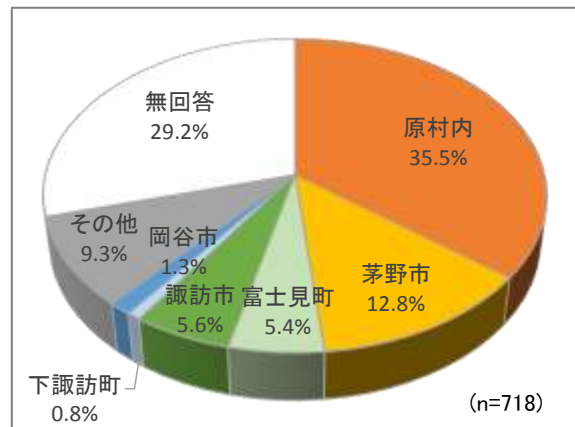
(2) 年齢



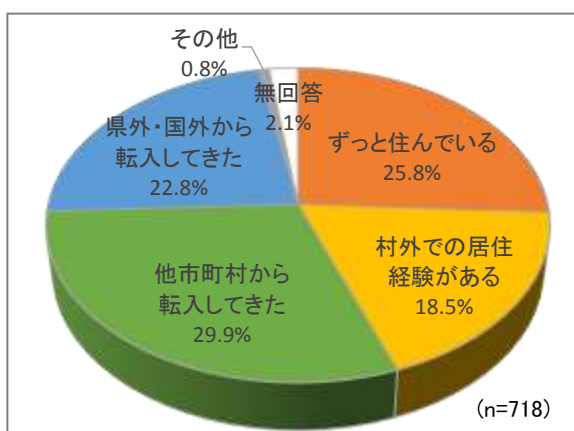
(3) 職業



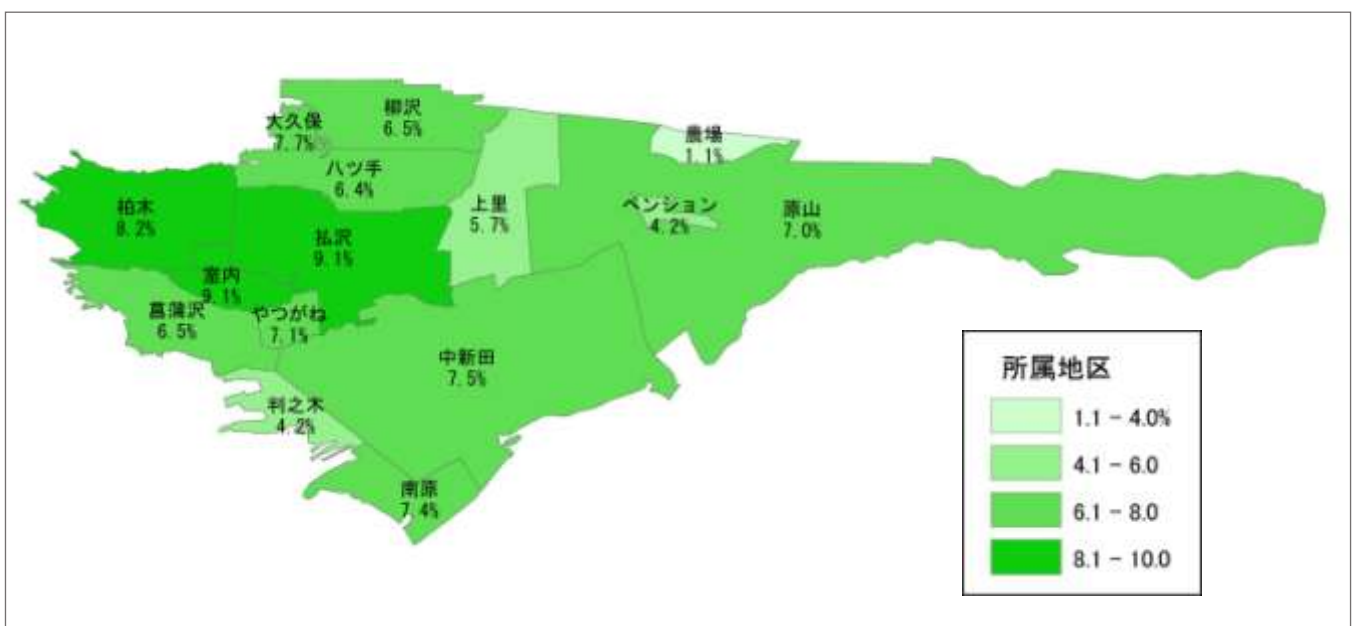
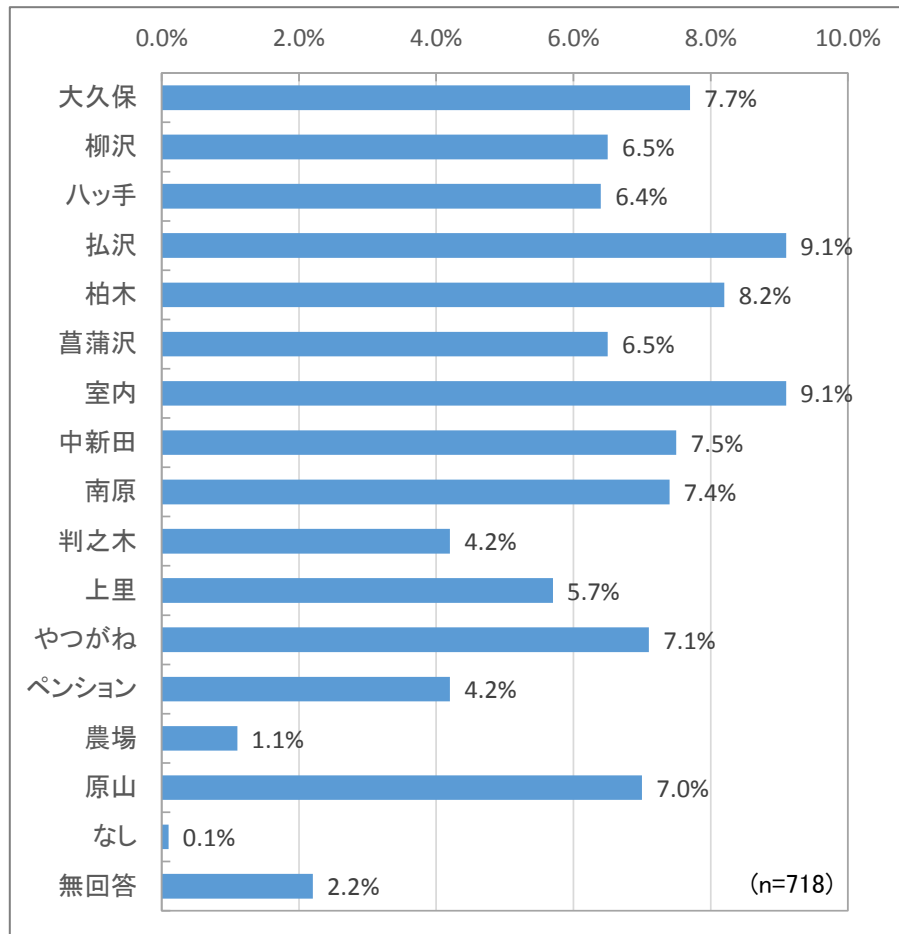
(4) 勤務先・通学先



(5) 出身地



(6) 所属地区



## 2. 原村の暮らしやすさについて

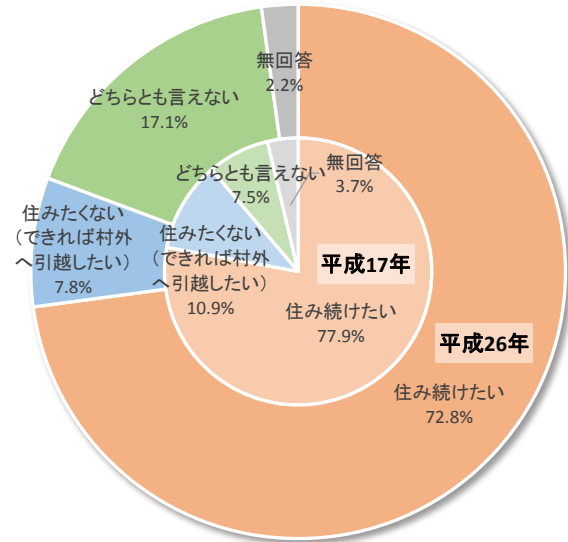
### 2-1. あなたは、これからも原村に住み続けたいと思いますか。

「住み続けたい」が72.8%、「できれば移りたい」7.8%  
 10年前(平成17年)と比較すると、「住み続けたい(77.9%→72.8%)」  
 「できれば移りたい(10.9%→7.8%)」「どちらとも言えない(7.5%→17.1%)」

当村における定住意向については、「住み続けたい(72.8%)」「できれば移りたい(7.8%)」と定住意向は高い結果でした。同設問で10年前と比較すると「住み続けたい」が5.1%、「できれば移りたい」が3.1%それぞれ下がりました。

これに対し「どちらとも言えない」が9.6%増えており、住み続けたい意向が多い中で、改善すべき課題も生じているとみられます。

(H26:n=718 H17:n=910)



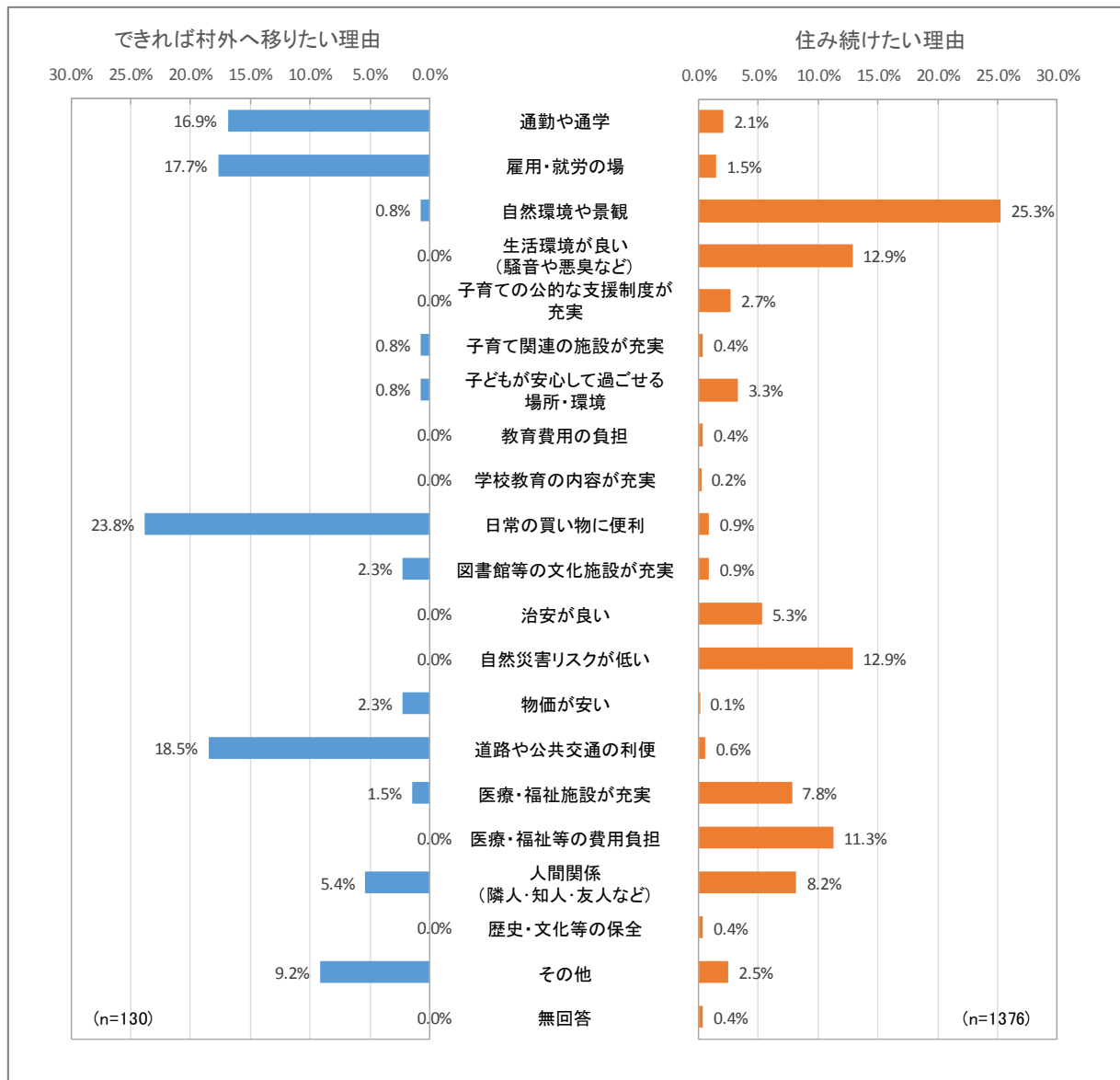
属性		住み続けたい	できれば村外へ移りたい(村外へ移る予定)	どちらともいえない	無回答	回答数
性別	男性	78.8%	5.6%	15.2%	0.4%	(n=269)
	女性	69.6%	10.4%	19.2%	0.8%	(n=355)
年齢	18~20歳代	46.2%	23.6%	29.2%	0.9%	(n=106)
	30歳代	68.8%	9.4%	21.9%	0.0%	(n=64)
	40歳代	68.1%	9.9%	20.9%	1.1%	(n=91)
	50歳代	82.9%	4.8%	12.4%	0.0%	(n=105)
	60歳代	77.3%	5.5%	16.4%	0.8%	(n=128)
	70歳代	83.2%	2.5%	13.4%	0.8%	(n=119)
	80歳以上	89.9%	1.1%	9.0%	0.0%	(n=89)
職業	有職	78.0%	5.3%	16.2%	0.5%	(n=431)
	無職	68.8%	11.4%	19.4%	0.4%	(n=263)
通勤先・通学先	村内	78.8%	5.1%	15.7%	0.4%	(n=255)
	広域連合内の村外	67.7%	10.8%	20.4%	1.1%	(n=186)
	広域連合外	53.7%	20.9%	23.9%	1.5%	(n=67)
出身地	ずっと住んでいる	83.2%	5.9%	10.3%	0.5%	(n=185)
	村外での居住経験がある	68.4%	9.0%	21.1%	1.5%	(n=133)
	他市町村から転入してきた	68.4%	8.8%	22.3%	0.5%	(n=215)
	県外・国外から転入してきた	76.2%	7.9%	15.9%	0.0%	(n=164)
	その他	66.7%	16.7%	16.7%	0.0%	(n=6)
所属地区	大久保・柳沢・ハツ手	75.7%	7.4%	15.5%	1.4%	(n=148)
	払沢・室内	77.7%	8.5%	13.8%	0.0%	(n=130)
	柏木・菖蒲沢	70.8%	6.6%	20.8%	1.9%	(n=106)
	中新田	77.8%	5.6%	16.7%	0.0%	(n=54)
	南原・判之木・やつがね	72.4%	8.2%	19.4%	0.0%	(n=134)
	上里・ペンション・農場・原山	72.1%	8.5%	19.4%	0.0%	(n=129)

## 2-2. 住み続けたい理由、できれば村外へ移りたい理由

住み続けたい理由：「自然環境や景観」「自然災害リスクが低い」「医療・福祉等の費用」  
 村外へ移りたい理由：「日常の買い物」「道路や公共交通」「雇用・就労」「通勤・通学」

住み続けたい理由では、「自然環境や景観が良い（25.3%）」で最も多く、次いで「自然災害リスクが低い（12.9%）」「生活環境が良い（12.9%）」、「医療・福祉等の費用負担が少ない（11.3%）」となっており、当村の自然環境が魅力で住み続ける又は移住者が多いこと、「医療、福祉施策の充実」が評価されている結果です。

一方、村外へ移りたい理由では、「日常生活の買い物が不便（23.8%）」「道路や公共交通が不便（18.5%）」「雇用・就労の場がない（17.7%）」「通勤や通学が不便（16.9%）」となっています。買い物や通勤・通学に不便なこと、移動に要する道路事情や公共交通手段に不満がある結果でした。



### 3. 原村の現状と今後の取り組みについて

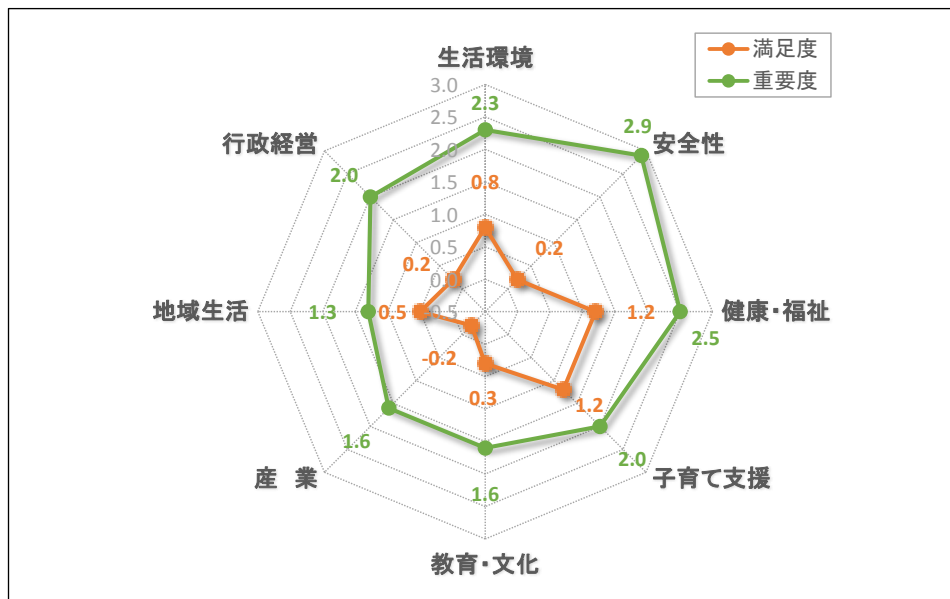
#### 3-1. 現状と今後の重要度総括

「健康・福祉」「子育て支援」は一定の満足、「産業」「安全性」「行政経営」が特に不満  
 「安全性」「健康・福祉」「生活環境」について今後の取り組みが重要

満足度及び今後の重要度について整理すると、分野別では「健康・福祉」「子育て支援」関係の満足度が比較的高く、「産業」や「安全性」などの分野が低くなっています。

今後の重要度については、満足度の高い取り組みを維持・向上するとともに、「生活環境」や「安全性」など要望の高い項目について、今後の取り組みが求められています。

＜分野別満足度・重要度チャート＞

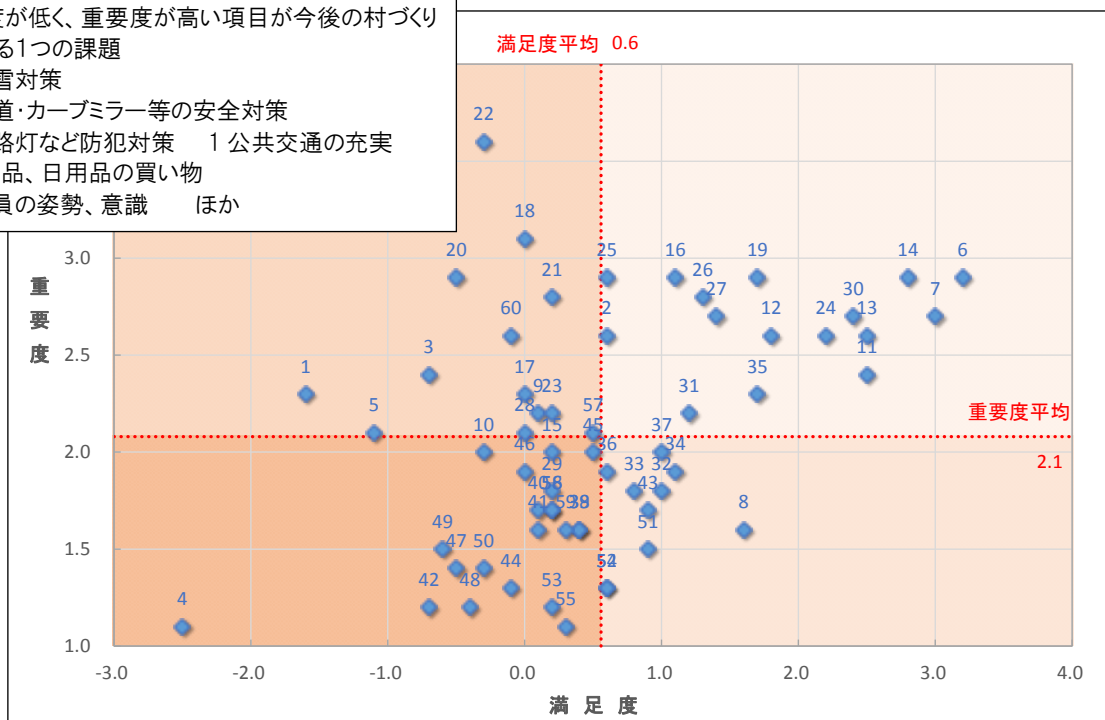


＜満足度×重要度＞

満足度が低く重要度が高い項目は、今後の課題として取り組んでいく必要があります。

満足度が低く、重要度が高い項目が今後の村づくりにおける1つの課題

- 22 除雪対策
- 18 歩道・カーブミラー等の安全対策
- 20 街路灯など防犯対策 1 公共交通の充実
- 3 食料品、日用品の買い物
- 60 職員の姿勢、意識 ほか





設問項目	満足度	重要度
1 バスなど公共交通が充実している	-1.6	2.3
2 道路が適切に整備・維持されている	0.6	2.6
3 食品や日用品の買い物がしやすい	-0.7	2.4
4 衣料品や電化製品の買い物がしやすい	-2.5	1.1
5 働く場が確保されている	-1.1	2.1
6 自然環境が豊かで潤いがある	3.2	2.9
7 森林や田園など景観がよい	3.0	2.7
8 住宅や宅地に恵まれている	1.6	1.6
9 身近なところに子どもの遊び場や居場所がある	0.1	2.2
10 子どもと一日ゆったりと過ごせる公園などがある	-0.3	2.0
11 水道の整備が進んでいる	2.5	2.4
12 下水道(合併処理浄化槽を含む)の整備が進んでいる	1.8	2.6
13 ごみの分別収集や資源回収が進んでいる	2.5	2.6
14 騒音・振動・大気汚染等の公害が少ない	2.8	2.9
15 土地利用が適切に行われている	0.2	2.0
16 自然環境保護が推進されている(森林・水質の保全など)	1.1	2.9
17 エネルギーの有効利用が進んでいる(省エネルギーの推進、再生可能エネルギー活用など)	0.0	2.3
18 歩道の整備やカーブミラーの設置など、交通安全対策が進んでいる	0.0	3.1
19 消防・救急体制が整っている	1.7	2.9
20 街路灯など、防犯の面で安心である	-0.5	2.9
21 地震や水害など自然災害対策が整っている	0.2	2.8
22 除雪対策が整っている	-0.3	3.6
23 詐欺・犯罪などのトラブル対策が整っている	0.2	2.2
24 住民検診や健康指導が充実している	2.2	2.6
25 病院等、医療機関が充実している	0.6	2.9
26 安心して医療サービスを受けられる環境になっている	1.3	2.8
27 高齢者や障がい者のための福祉サービスが充実している	1.4	2.7
28 高齢者や障がい者の働く場など生きがい支援が充実している	0.0	2.1
29 生活困窮者のための相談・支援体制が整っている	0.2	1.8
30 高齢者の医療費給付制度が充実している	2.4	2.7

設問項目	満足度	重要度
31 保育サービスなど子育て支援が充実している	1.2	2.2
32 保育料の負担軽減が行われている	1.0	1.8
33 子育て相談・情報提供が充実している	0.8	1.8
34 母子保健が充実している(乳幼児健診・妊婦健診・不妊治療への補助等)	1.1	1.9
35 子供の医療費給付制度が充実している	1.7	2.3
36 小・中学校での教育や教育相談が充実している	0.6	1.9
37 小・中学校の施設・設備が充実している	1.0	2.0
38 青少年活動や青少年の健全育成体制が充実している	0.4	1.6
39 誰もが学べる生涯学習環境が充実している	0.4	1.6
40 スポーツ・レクリエーション施設が整っている	0.1	1.7
41 文化施設が充実し、文化的活動が充実している	0.1	1.6
42 娯楽やレジャーの環境が整っている	-0.7	1.2
43 歴史や伝統が大事にされている	0.9	1.7
44 男女共同参画の社会づくりが進んでいる	-0.1	1.3
45 農業の振興施策が充実している	0.5	2.0
46 観光の振興施策が充実している	0.0	1.9
47 商業の振興施策が充実している	-0.5	1.4
48 工業の振興施策が充実している	-0.4	1.2
49 就労相談や能力開発支援が充実している	-0.6	1.5
50 融資・助成制度や起業支援、企業誘致が充実している	-0.3	1.4
51 公民館活動や地区の活動などが活発である	0.9	1.5
52 地域活動への住民参加の機会がたくさんある	0.6	1.3
53 ボランティア活動が活発である	0.2	1.2
54 祭りやイベントが充実している	0.6	1.3
55 国際交流が盛んである	0.3	1.1
56 住民参画の機会が充実し、市政に対して意見を述べることができる	0.2	1.7
57 行政は多様な手段により住民に情報を提供している	0.5	2.1
58 届出や申請の電子化が進み、行政サービスを便利に、快適に利用できている	0.2	1.7
59 広域的な課題や公共施設の共同利用等について他の市町と連携して取り組んでいる	0.3	1.6
60 村職員一人ひとりが住民の視点に立って働いている	-0.1	2.6

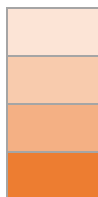
平均値 0.6 2.1

満足度:平均以上 / 重要度:平均以上 .....

満足度:平均以上 / 重要度:平均未満 .....

満足度:平均未満 / 重要度:平均以上 .....

満足度:平均未満 / 重要度:平均未満 .....



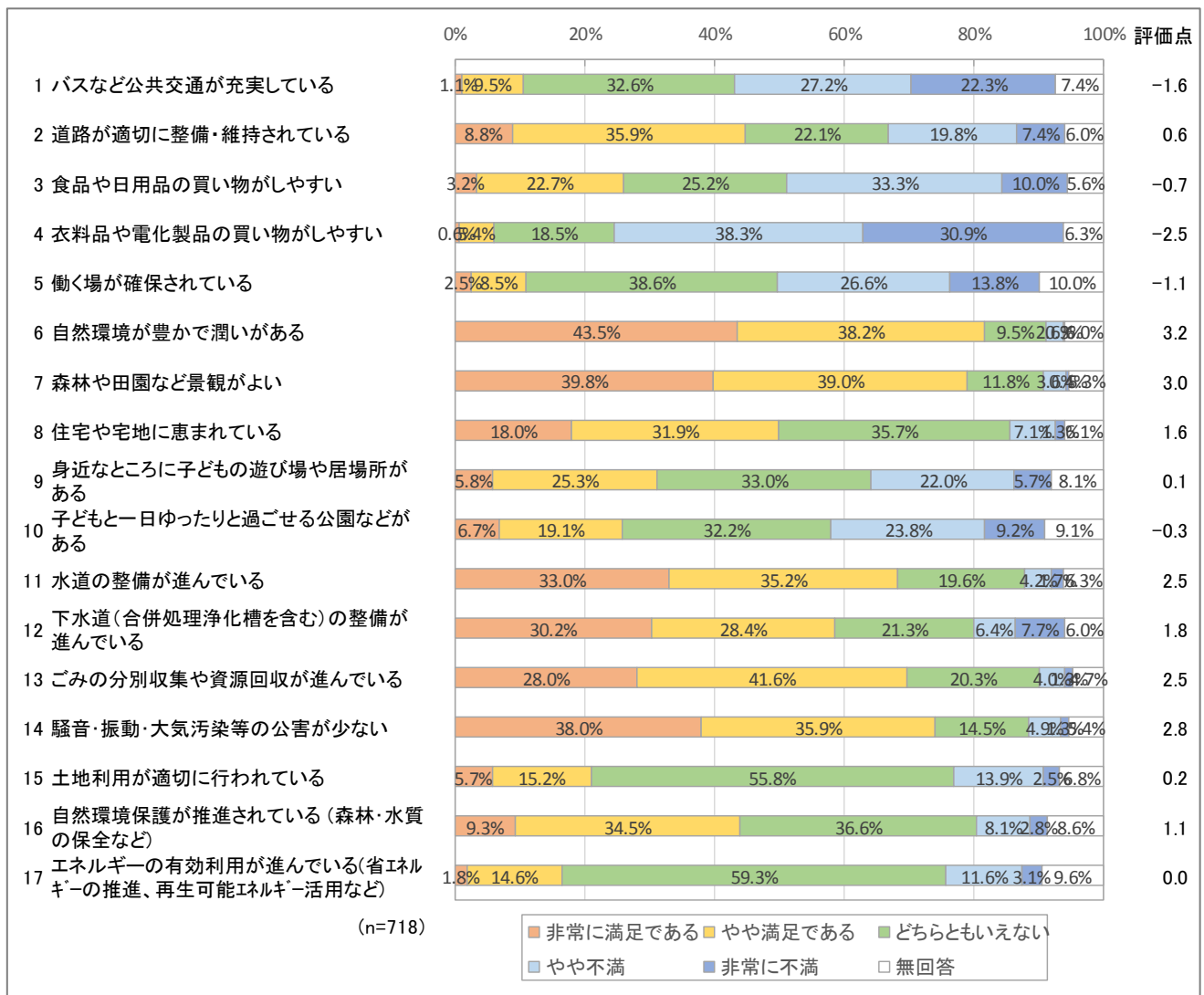
### 3-2. 生活の快適さ・便利さについて

満足度が高い：「6 自然環境が豊か」「7 森林や田園の景観」「14 公害が少ない」「11 水道」  
 満足度が低い：「4 衣料品、電化製品の買い物」「1 公共交通の充実」「5 働く場がない」

満足度をみると、村の「6 自然環境」や「7 景観」「14 騒音・振動・大気汚染等の公害」について高い評価をえています。

一方、満足度が低い項目では、買い物環境（4 衣料品、電化製品 3 食料品、日用品）について最も評価が低い他、「1 公共交通の充実」や「5 働く場（就労環境）」に関して低くなっています。

#### <満足度>



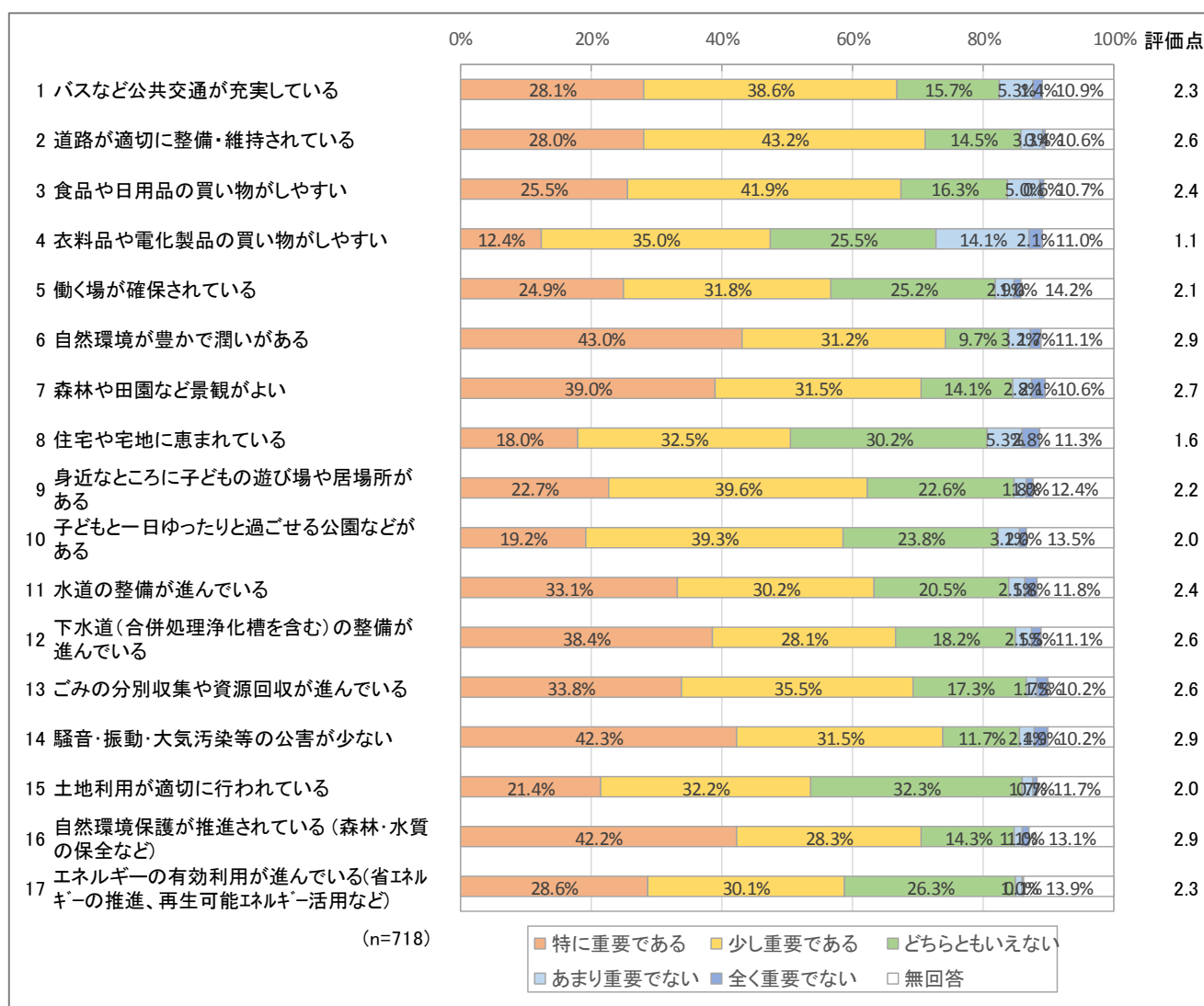
## <重要度>

重要度が高い：「6 自然環境が豊か」「14 公害が少ない」「16 自然環境保護の推進」

重要度が低い：「4 衣料品、電化製品の買い物」「8 住宅・宅地」

重要度についてみると、「6 自然環境」「14 騒音・振動・大気汚染等の公害」「16 自然環境保護の推進」について重要度が高い結果で、村の自然環境や景観など環境を維持・保全していくことが重視されています。

一方、「4 衣料品、電化製品の買い物」は重要度が低いですが、「3 食料品、日用品」は重要度が高くなっています。



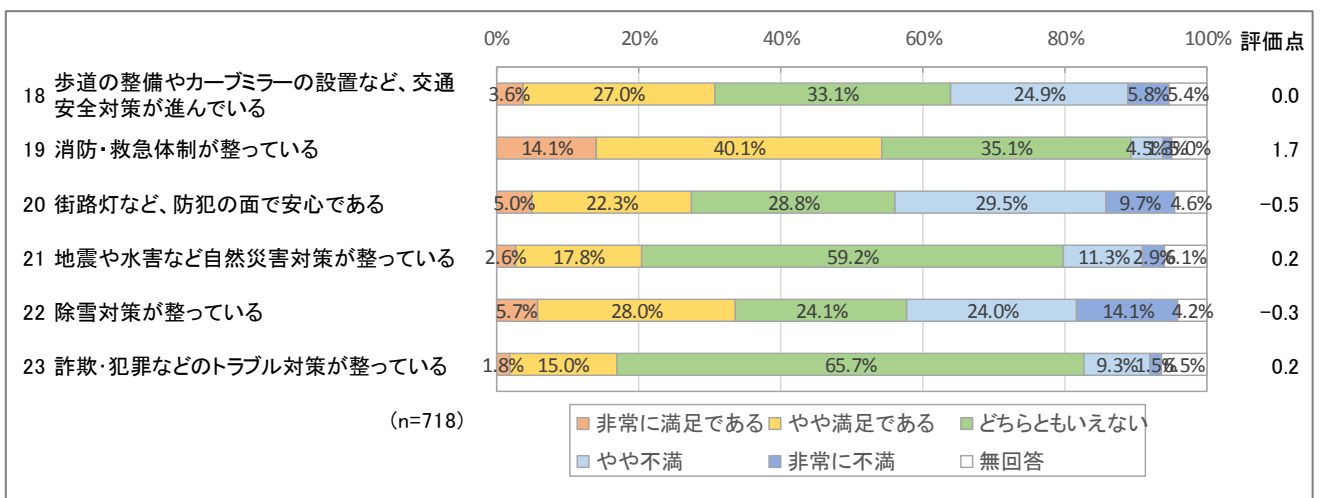
### 3-3. 安全性について

「19 消防・救急体制」は満足度が高く、「20 街路灯など防犯面」「22 除雪対策」が不満  
 「22 除雪対策」「18 歩道やカーブミラー等の安全対策」が重要

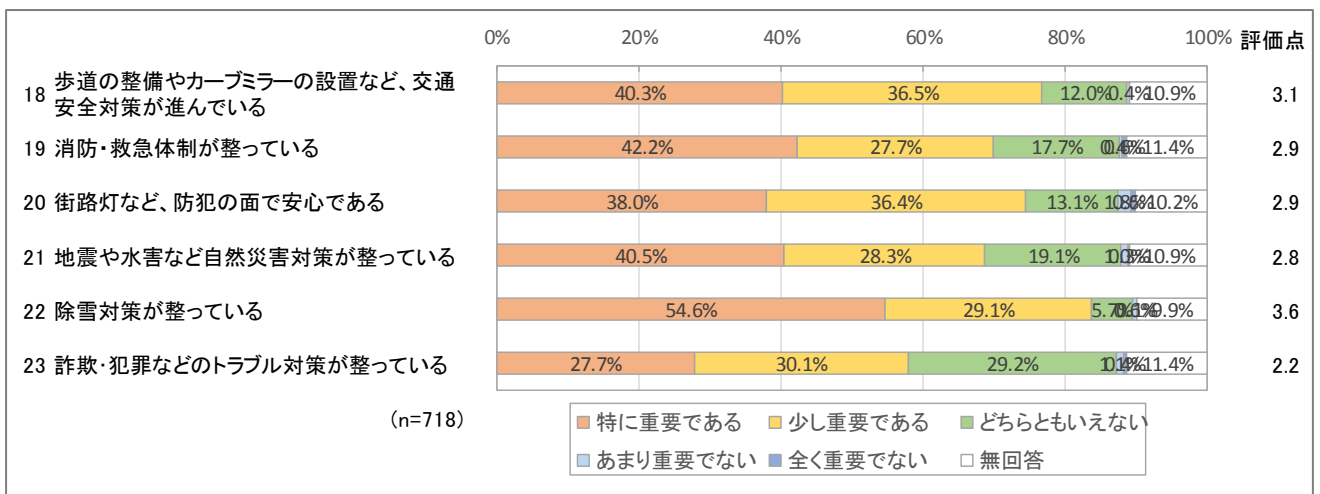
満足度では、「19 消防・救急体制」について満足度が高いが、「20 街路灯など防犯面」「22 除雪対策」「18 歩道やカーブミラーなど交通安全対策」について不満が見られます。

これに対し重要度をみると、「22 除雪対策」「18 歩道やカーブミラーなど交通安全対策」の重要度が高く、「19 消防・救急体制」「20 街路灯など防犯」が続いています。

#### <満足度>



#### <重要度>



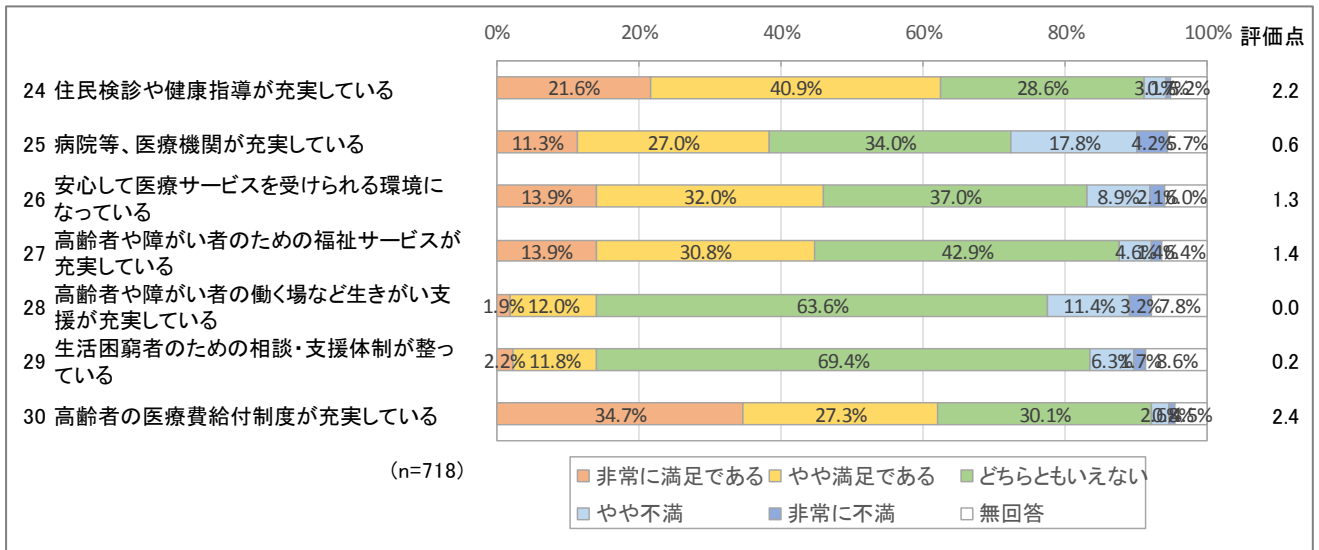
### 3-4. 健康や福祉について

「24 住民健診や健康指導」「30 高齢者の医療給付制度」は満足度が高く今後も重要  
 「25 病院等、医療機関の充実」「26 安心して医療サービスを受けられる環境」が重要

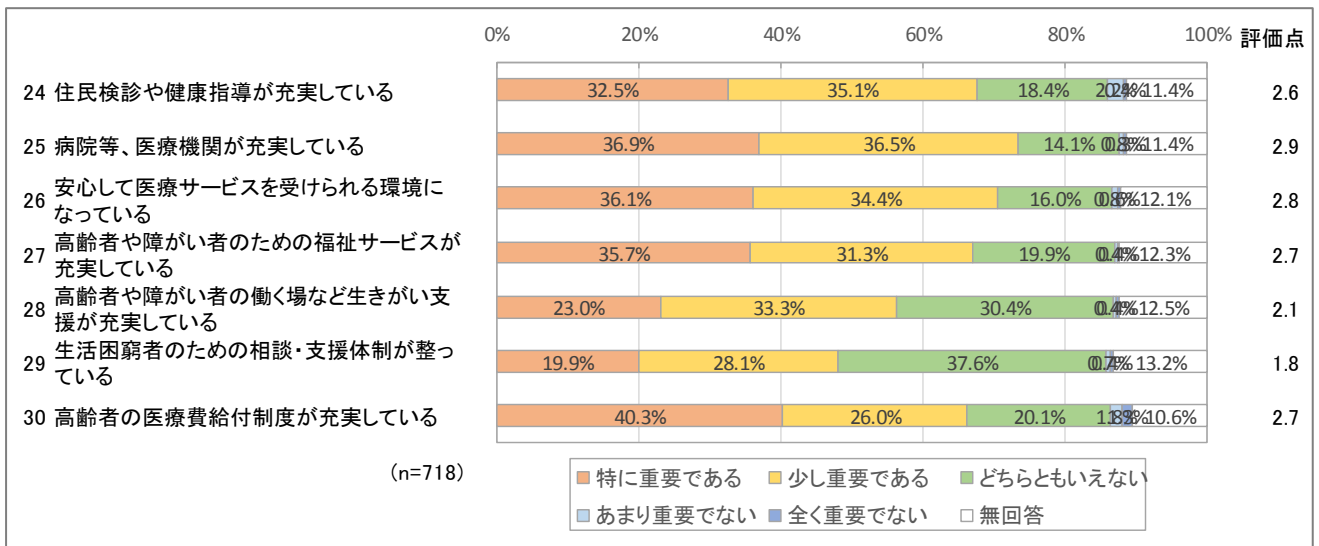
「24 住民健診や健康指導」「30 高齢者の医療給付制度」が満足度、重要度ともに高く、これまでの取り組みが評価されていると同時に今後も重要視されています。

一方、今後の取り組みとして、「25 病院等、医療機関の充実」「26 安心して医療サービスを受けられる環境」がさらに求められています。

#### <満足度>



#### <重要度>



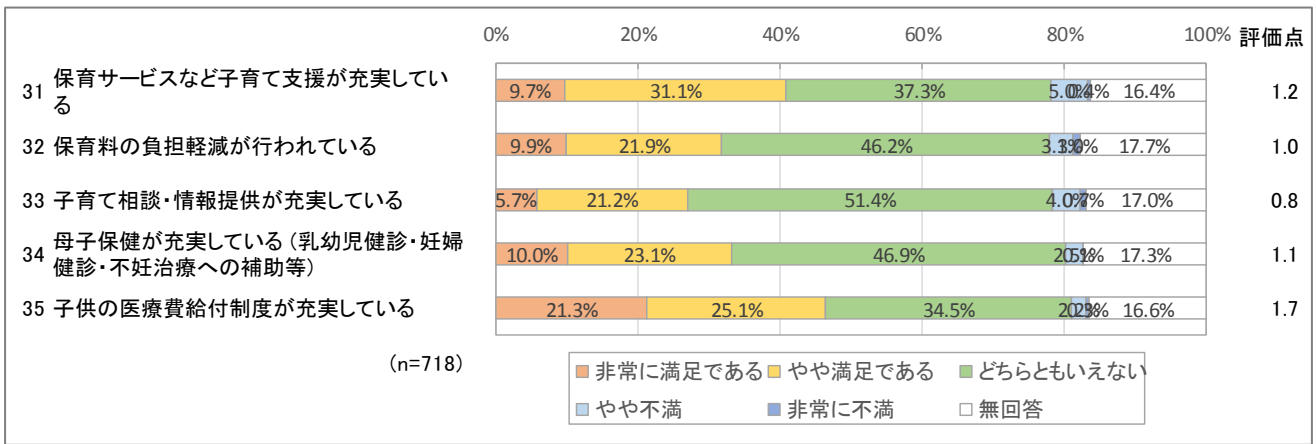
### 3-5. 子育て支援について

「35 子どもの医療給付制度」「31 保育サービスなど子育て支援」は満足度が高く今後も重要  
 「33 子育て相談・情報提供」の満足度が低く、今後の課題

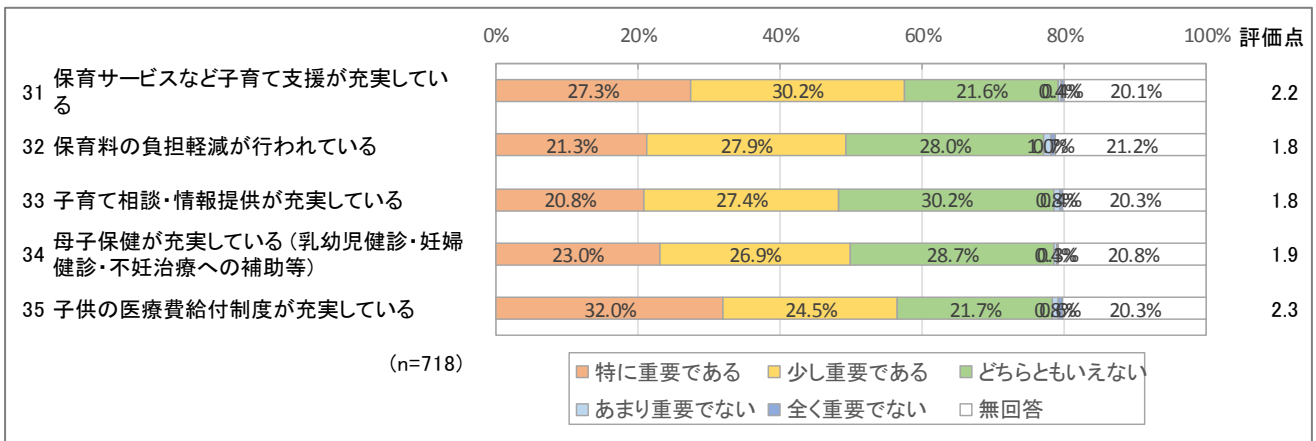
「35 子どもの医療給付制度」「31 保育サービスなど子育て支援」が満足度、重要度ともに高く、これまでの取り組みが評価されていると同時に今後も重要視されています。

一方、「33 子育て相談・情報提供」について満足度が低く、重要度が高いことから、今後の取り組みにおいて課題となっています。

#### <満足度>



#### <重要度>



### 3-6. 教育や文化について

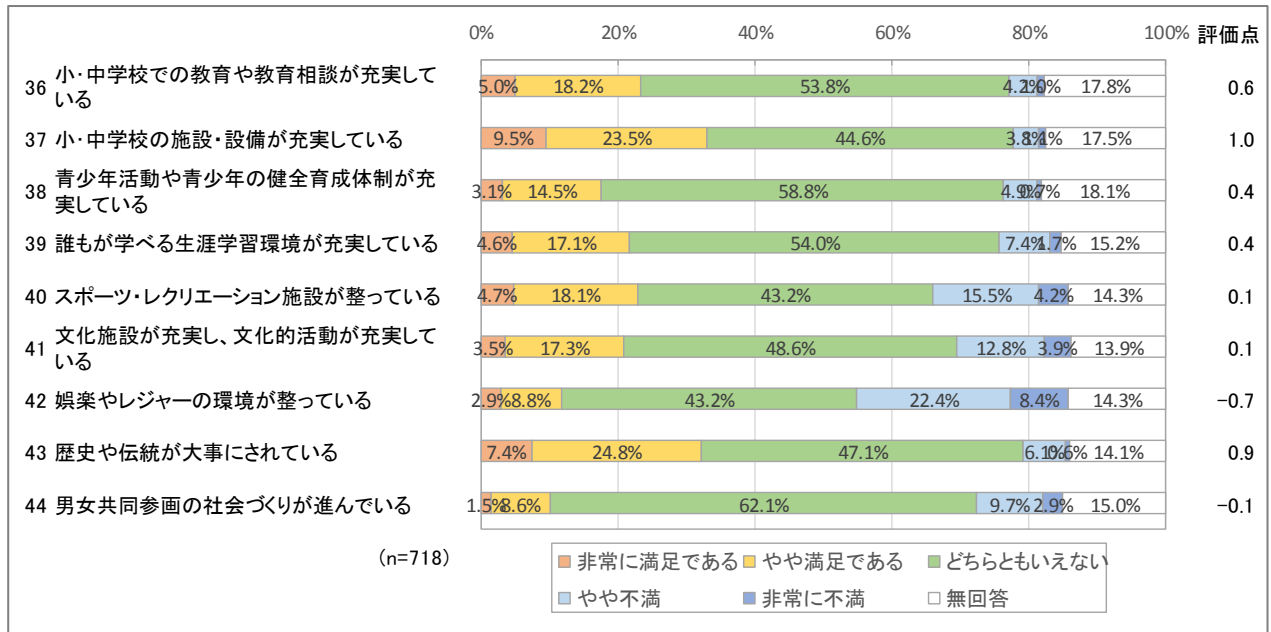
「36,37 小・中学校の教育環境」「43 歴史や伝統」は比較的満足  
 「42 娯楽やレジャー環境」「44 男女共同参画の社会」はやや不満で今後の課題

「36,37 小・中学校の教育環境」「43 歴史や伝統」については比較的満足度を得ています。

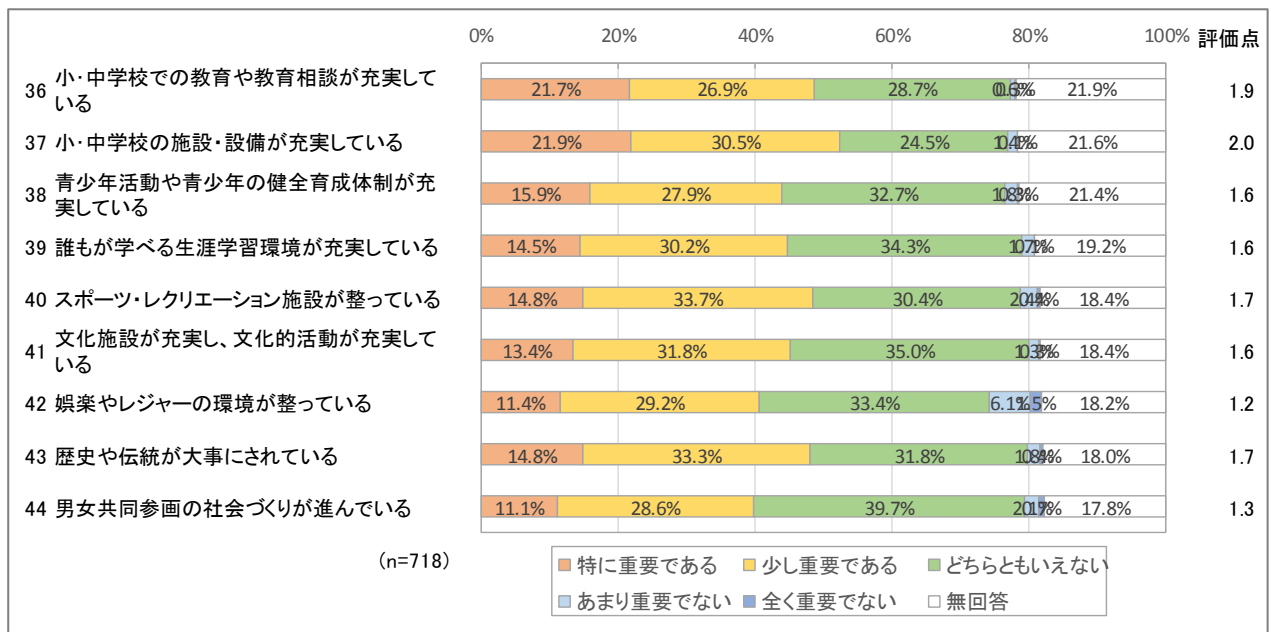
一方、「42 娯楽やレジャー環境」について満足度が最も低く、村内における余暇利用につながるものが求められています。

また、「44 男女共同参画の社会」についても満足度がやや低く、今後とも課題として重視していくことが求められています。

#### <満足度>



#### <重要度>





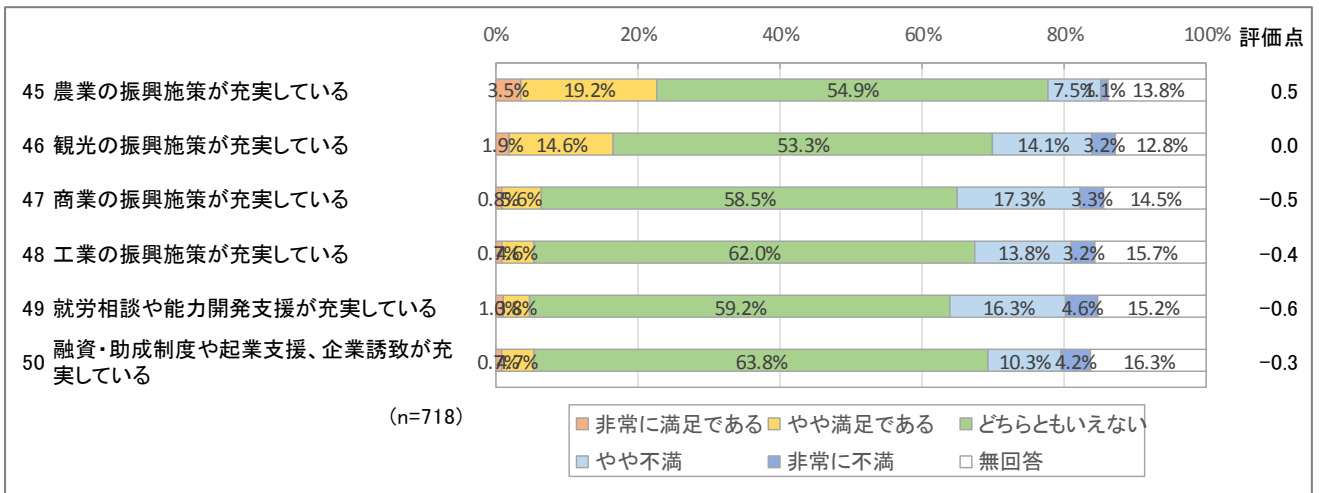
### 3-7. 産業について

産業関連全般で満足度が低く特に「47 商業、48 工業施策」「49 就労相談」が不満  
「45 農業、46 観光」の振興施策、「49 就労相談、能力開発支援」が今後重要

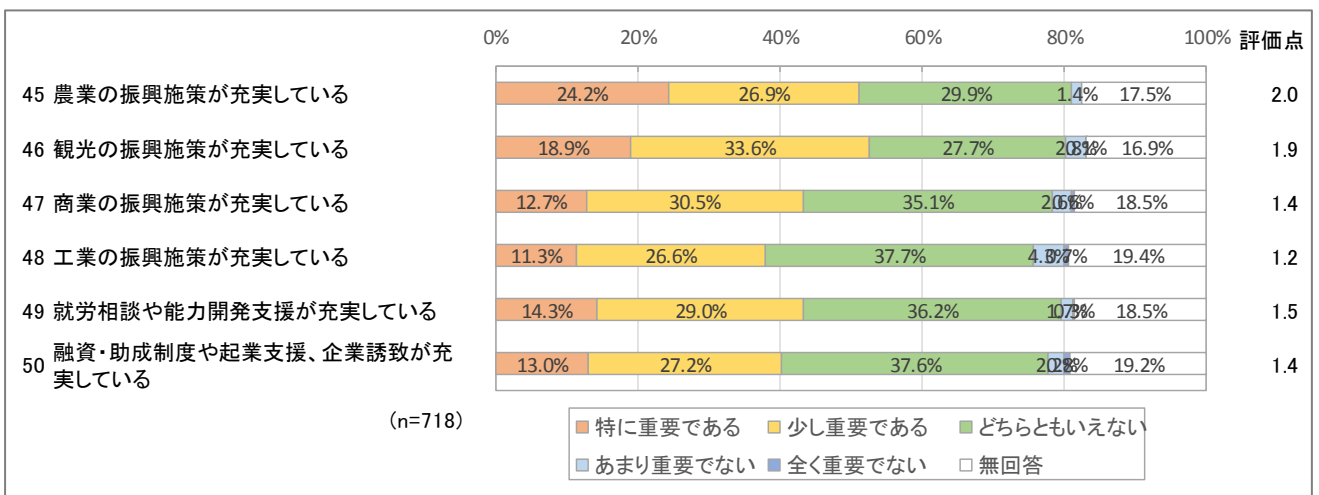
産業関連については、全般に満足度が低いですが、「45 農業、46 観光」がやや高く、改めて村の基幹産業であるといえます。

一方、「47 商業、48 工業」の振興施策や「49 就労相談、能力開発支援」について満足度が最も低くなっており、住民の雇用、就労を支援する取り組みや基幹産業の振興施策が重要となっています。

#### <満足度>



#### <重要度>





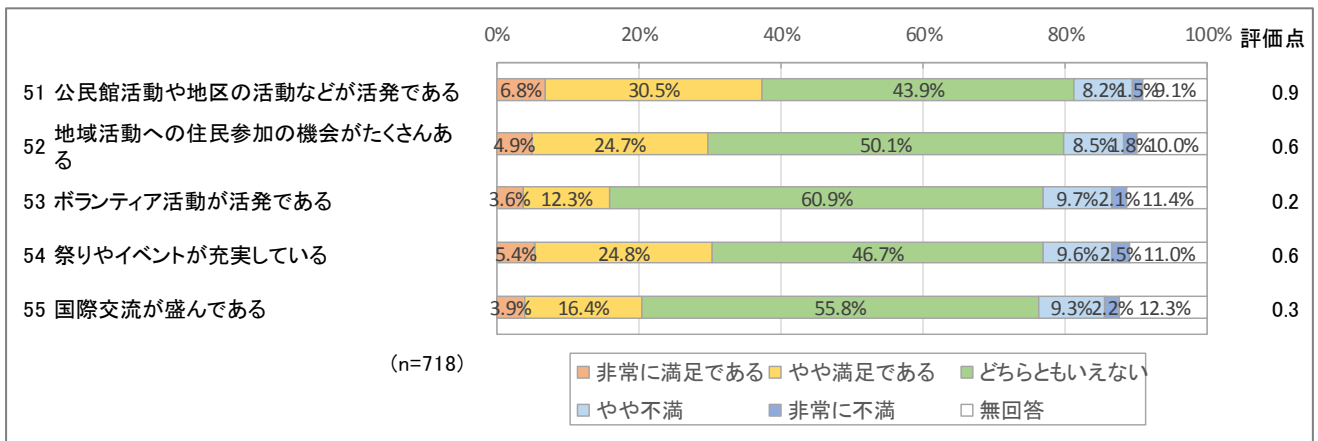
### 3-8. 地域生活について

「51 公民館や地区の活動」がやや満足度が高い他、全般的に満足度が低く、重要度も低め

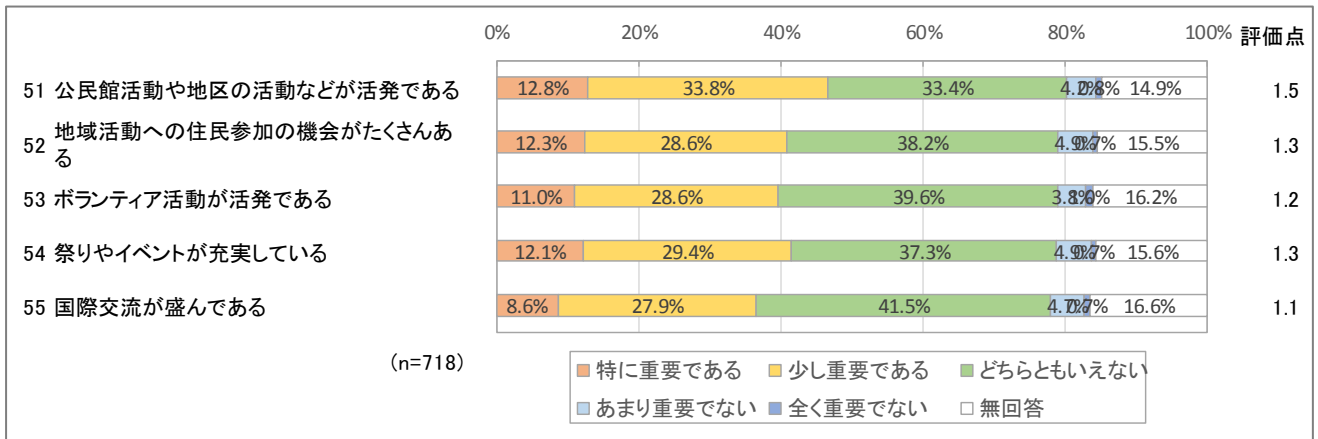
地域生活関連については、全般に満足度、重要度ともに低く、他の分野と比べるとあまり重要視されていない結果でした。

項目別にみると、「51 公民館活動や地区の活動」「52 地域活動への住民参加の機会」「54 祭りやイベントが充実」がやや高く、「55 国際交流」が満足度、重要度ともに最も低い結果でした。

#### <満足度>



#### <重要度>



### 3-9. 行政経営について

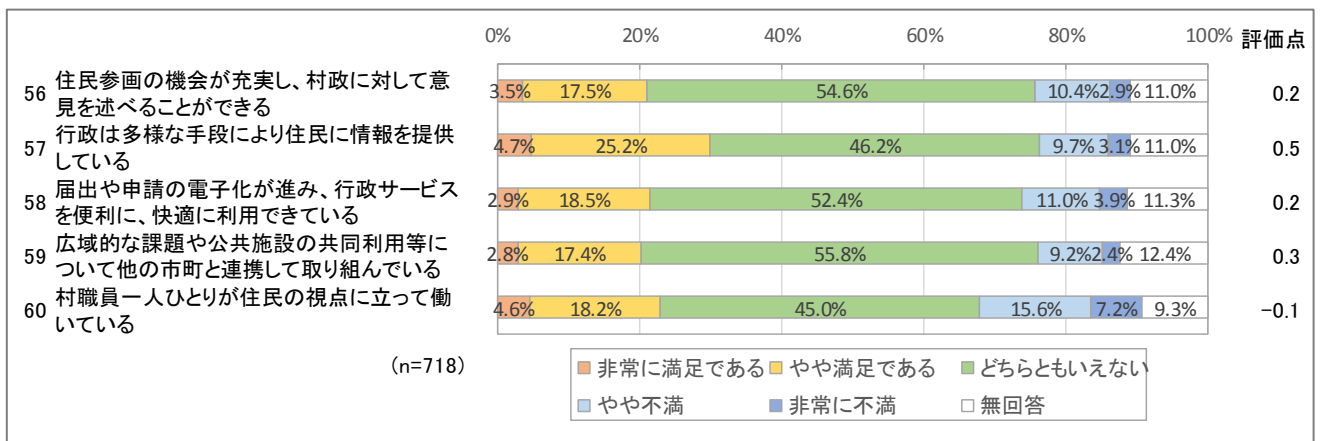
職員一人ひとりの取り組み姿勢、意識が重要  
 住民への幅広い情報発信が重要

行政経営については、「60 村職員の取り組み姿勢」について、満足度が低く重要度が最も高い項目でした。

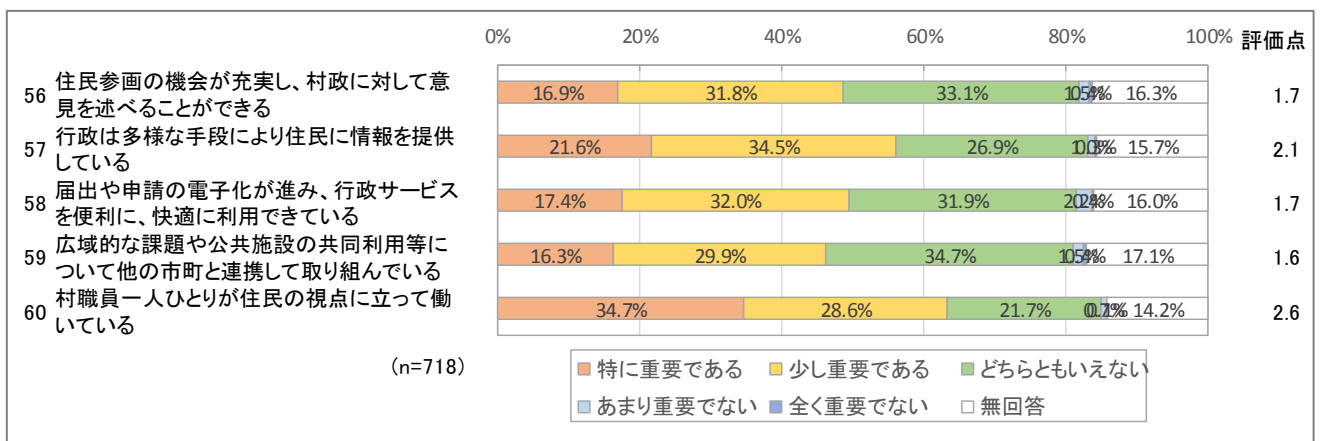
窓口サービスをはじめ、村役場職員の取り組み姿勢、意識が注目されている結果でした。

また、「57 多様な手段による情報提供」の重要度が高く、様々な手段を活用しながら、住民への情報発信を充実させることが課題となっています。

#### <満足度>



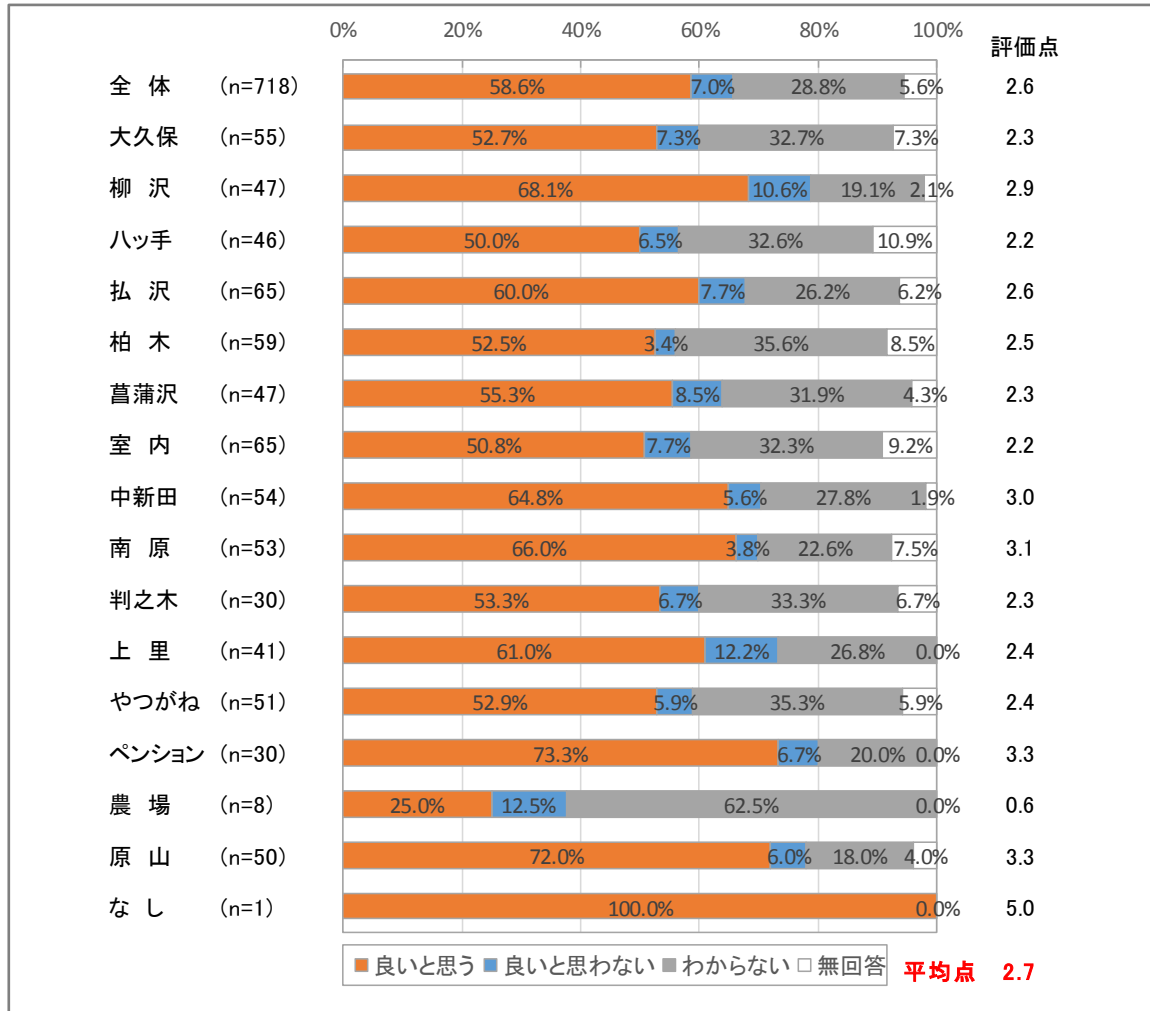
#### <重要度>



#### 4. 「日本で最も美しい村」連合への加盟について

##### 4-1. 原村が「日本で最も美しい村」連合に加盟することについてどう思いますか。

「日本で最も美しい村」連合への加盟に関する賛否については、「良いと思う」が全体の58.6%、「良いと思わない」が7.0%、「わからない」が28.8%でした。結果を評価点として整理すると、原山、ペンション、中新田、柳沢地区では賛成の傾向が高く、農場、ハツ手、農場地区などは低い結果でした。



##### <地域別評価点>



##### 評価点の算出方法

「良いと思う」=5点、「良いと思わない」=-5点、「わからない」「無回答」=0点として算出。

【属性別回答結果】

属性		良いと思う	良いと思わない	わからない	無回答	回答数
性別	男性	57.2%	11.2%	27.5%	4.1%	(n=269)
	女性	61.1%	3.9%	29.6%	5.4%	(n=355)
年齢	18～20歳代	71.7%	1.9%	26.4%	0.0%	(n=106)
	30歳代	57.8%	14.1%	26.6%	1.6%	(n=64)
	40歳代	60.4%	7.7%	28.6%	3.3%	(n=91)
	50歳代	62.9%	8.6%	27.6%	1.0%	(n=105)
	60歳代	51.6%	10.9%	29.7%	7.8%	(n=128)
	70歳代	58.8%	5.0%	27.7%	8.4%	(n=119)
	80歳以上	48.3%	2.2%	33.7%	15.7%	(n=89)
職業	有職	61.3%	8.1%	25.8%	4.9%	(n=431)
	無職	55.9%	4.2%	33.8%	6.1%	(n=263)
勤務先・通学先	村内	59.2%	9.8%	25.5%	5.5%	(n=255)
	広域連合内の村外	62.9%	8.1%	25.8%	3.2%	(n=186)
	広域連合外	65.7%	6.0%	25.4%	3.0%	(n=67)
出身地	ずっと住んでいる	54.1%	7.0%	30.3%	8.6%	(n=185)
	村外での居住経験がある	61.7%	10.5%	24.8%	3.0%	(n=133)
	他市町村から転入してきた	55.8%	6.0%	32.1%	6.0%	(n=215)
	県外・国外から転入してきた	66.5%	5.5%	25.6%	2.4%	(n=164)
	その他	16.7%	0.0%	50.0%	33.3%	(n=6)
所属地区	大久保・柳沢・ハツ手	56.8%	8.1%	28.4%	6.8%	(n=148)
	払沢・室内	55.4%	7.7%	29.2%	7.7%	(n=130)
	柏木・菖蒲沢	53.8%	5.7%	34.0%	6.6%	(n=106)
	中新田	64.8%	5.6%	27.8%	1.9%	(n=54)
	南原・判之木・やつがね	58.2%	5.2%	29.9%	6.7%	(n=134)
	上里・ペンション・農場・原山	65.9%	8.5%	24.0%	1.6%	(n=129)

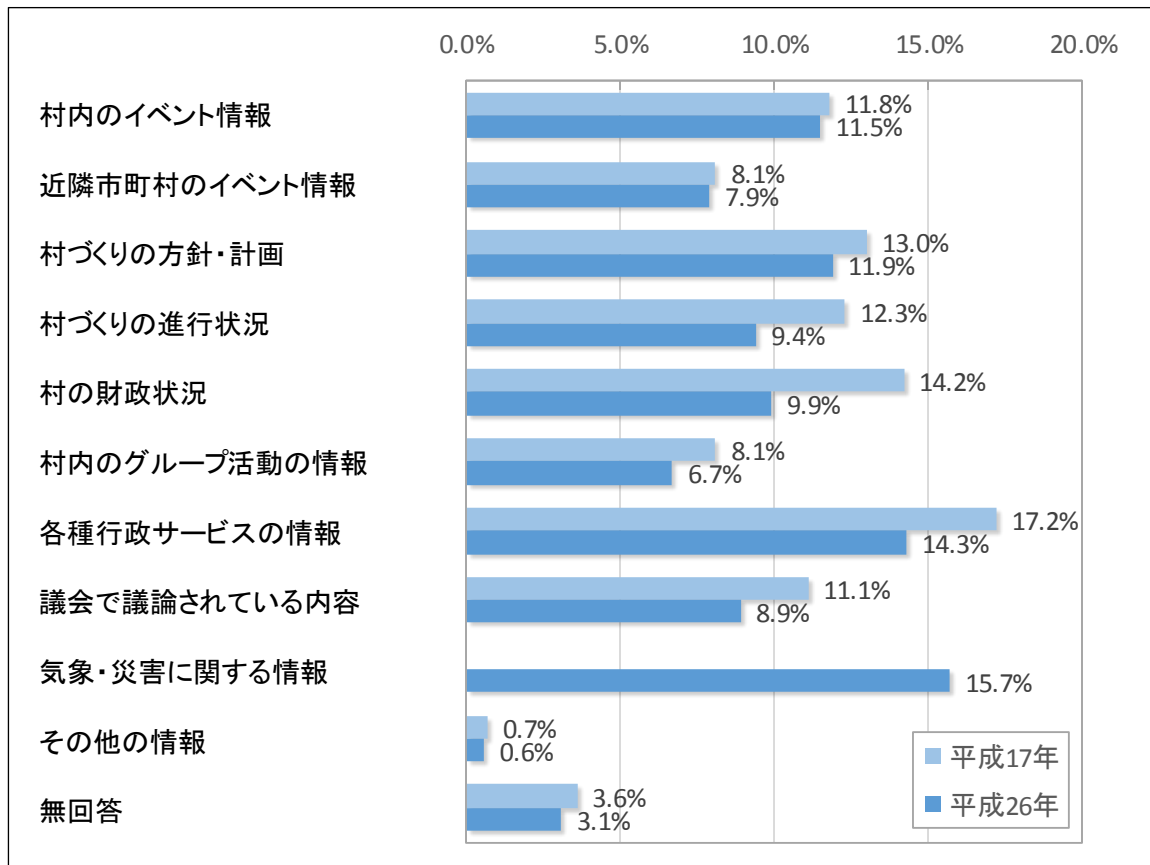
## 5. 住民の皆さんと役場の関わり方、村づくりについて

### 5-1. あなたは、村からどのような内容の情報がほしいですか。

「気象・災害情報」「各種行政サービス情報」の充実

村役場からの発信すべき情報については、「気象・災害に関する情報（15.7%）」「各種行政サービスの情報（14.3%）」が最充実すべき内容として多く寄せられました。

安心・安全対策の1つとして気象情報や災害に関する情報が求められているとともに、行政サービスに関して、広く求められています。



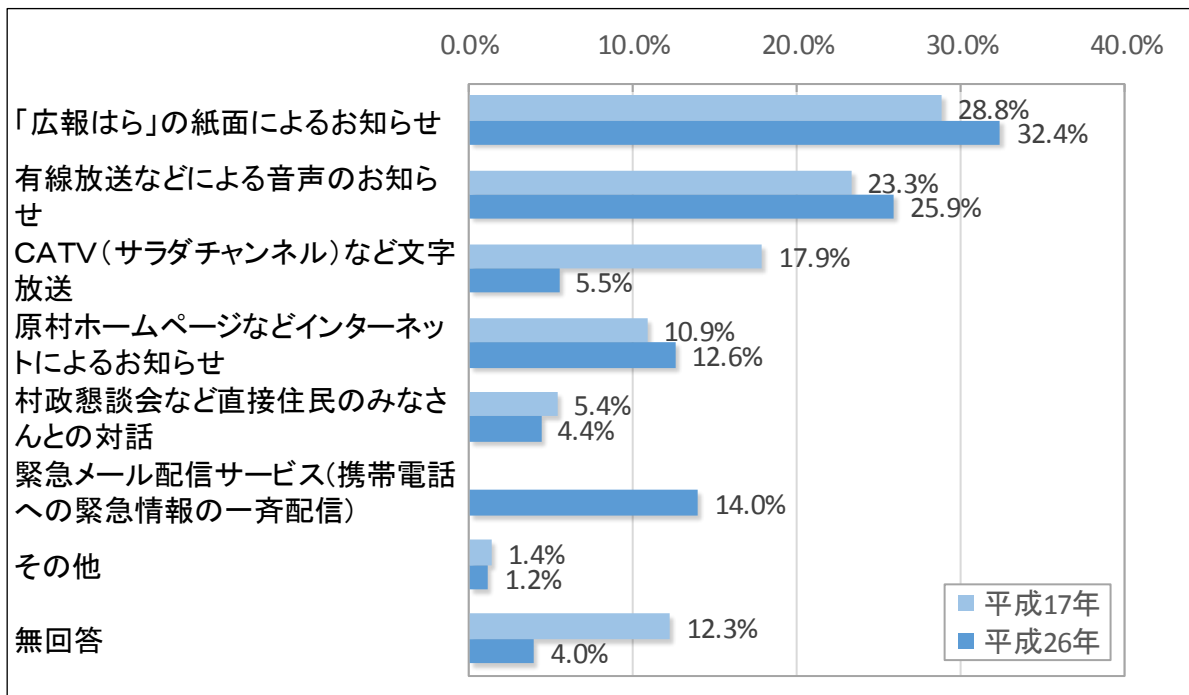
5-2. あなたは、村からの情報伝達手段として、どのようなものを充実していくべきだと思いますか。

「広報はら」と「有線放送など音声」が約半数  
 「サラダチャンネル（映像放送）」の復活を望む声も

村役場からの情報伝達手段については、「広報はら（32.4%）」「有線放送など（25.9%）」が最も多く全体の約半数が回答しています。

しかしながら、「広報はら」をあまり見ない、サラダチャンネルも以前のような映像放送が望まれるなど多様な意見も寄せられています。

今後も住民の皆さんに広く情報伝達できるよう、紙面や情報の工夫、年齢層や情報に関する環境を考慮しながら効果的な手段を研究していくことが必要です。



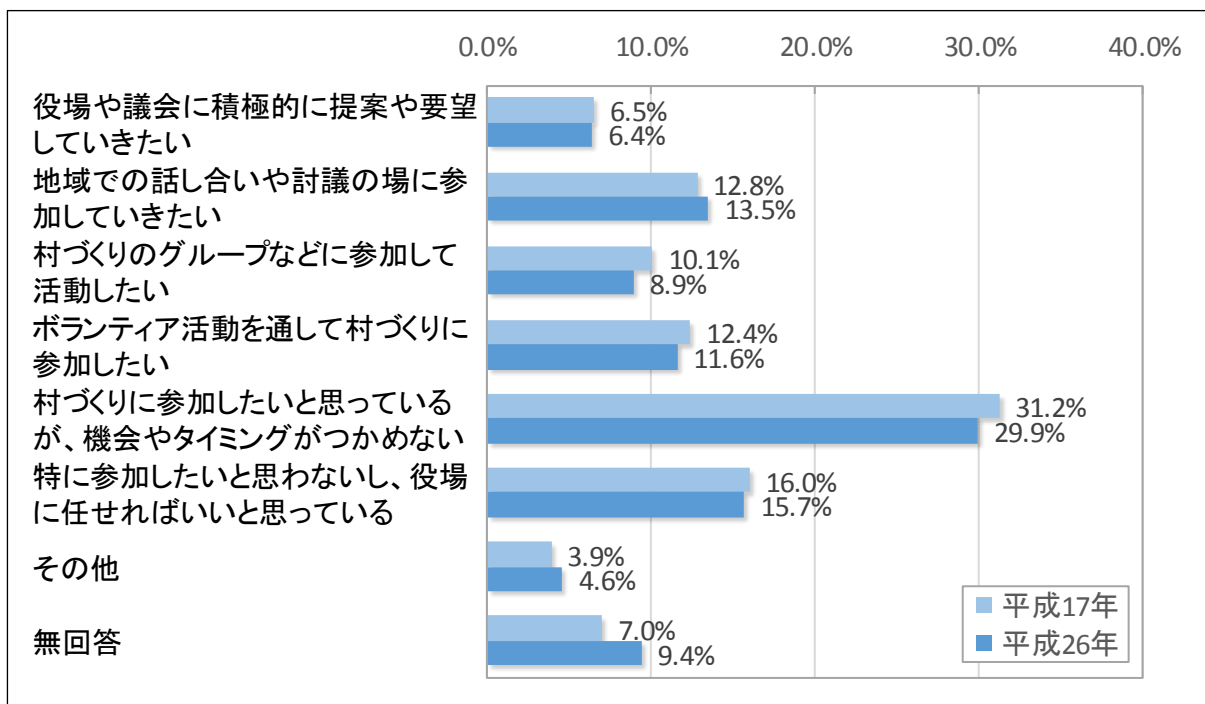
5-3. あなたは、どのような形で村づくりに参加したいと思いますか。

「参加したいが機会やタイミングが合わない」が29.9%  
 「地域での話し合いに参加したい」が13.5%  
 「特に参加を希望せず、役場に任せる」が15.7%

村づくりに関する参加形態については、「参加意欲があるものの機会やタイミングがつかめない」が29.9%と最も多く、「地域での話し合い」13.5%が次いで多い順でした。

また、「特に参加せず、役場へ任せる」も15.7%とやや多い回答でした。

前問にあった住民への情報発信を合わせてみると、必ずしも参加せずとも行政から情報発信をして共有していくことも重要であるとみられます。

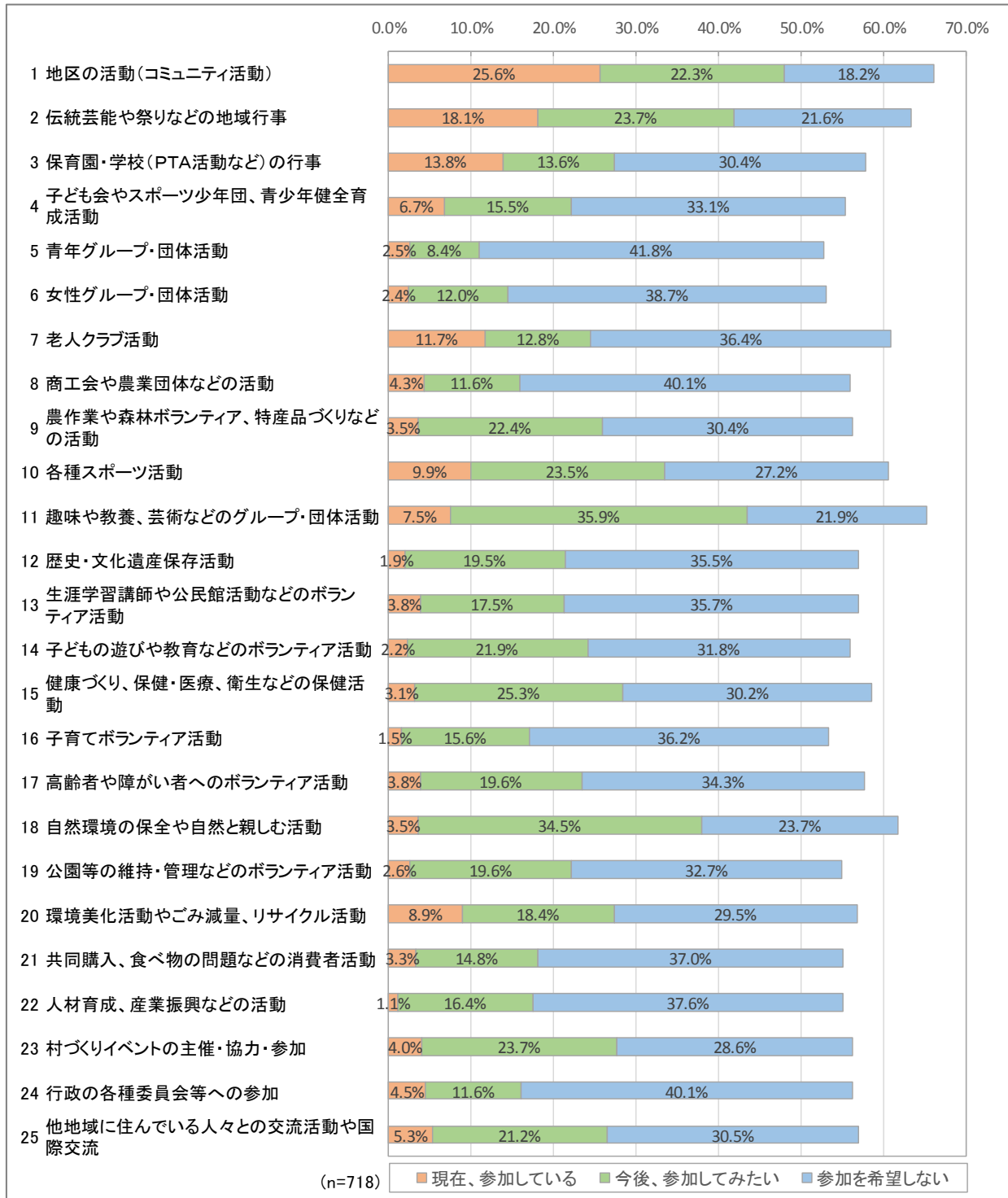


5-4. 村づくり活動についてお聞きします。何らかのグループや組織に加わって、村づくり活動に参加していますか。

「1 地区の活動」「2 祭りなどの地域行事」「3 保育園・学校の行事」に参加  
「11 趣味や教養、芸術活動」「18 自然環境保全や親しむ活動」に参加希望

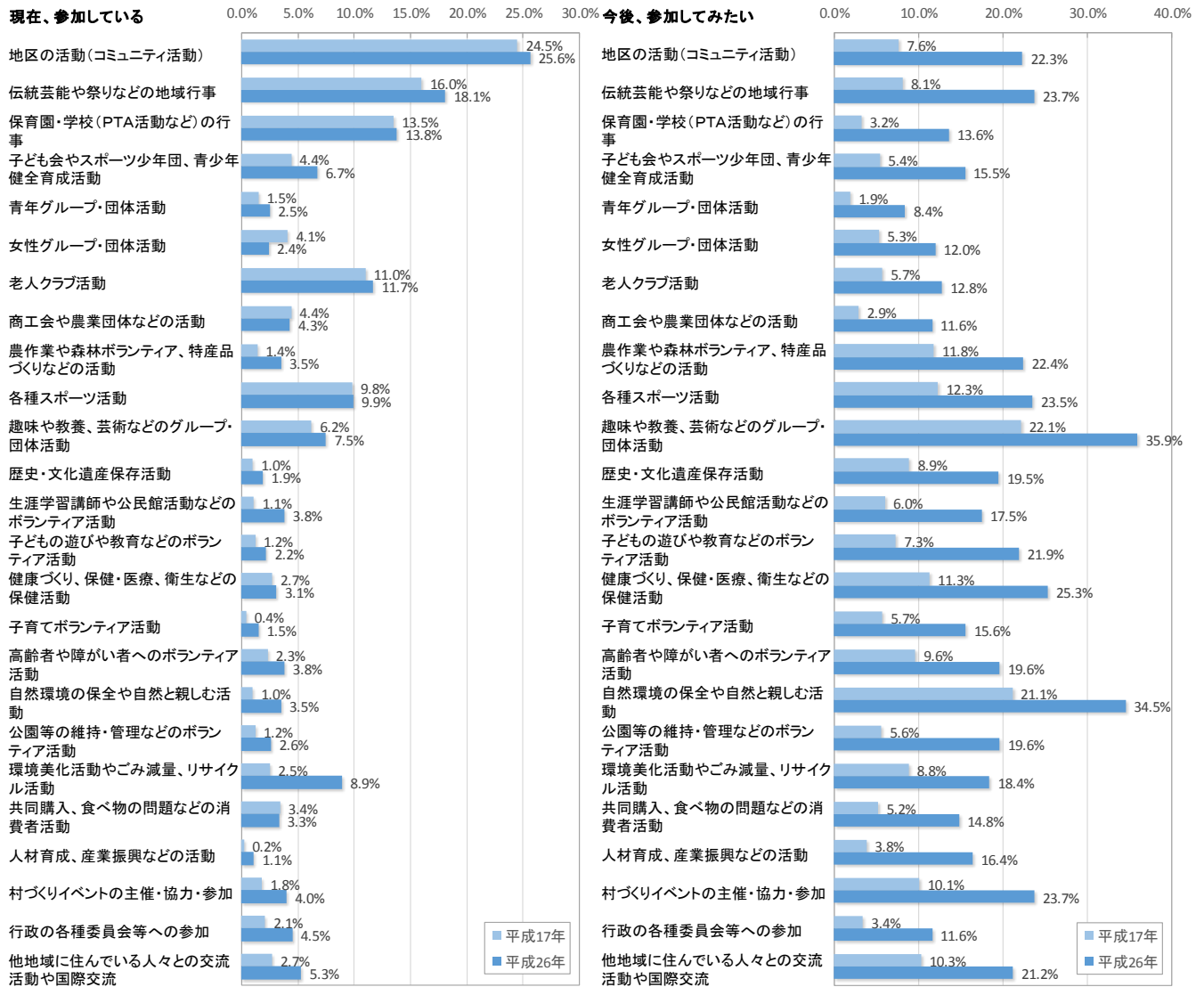
地区活動や行事、PTA活動などで参加、活動していることが多いです。

今後の参加希望としては、「趣味や教養、芸術活動」「自然環境の保護活動や自然と親しむ活動」への参加希望が多くなっています。





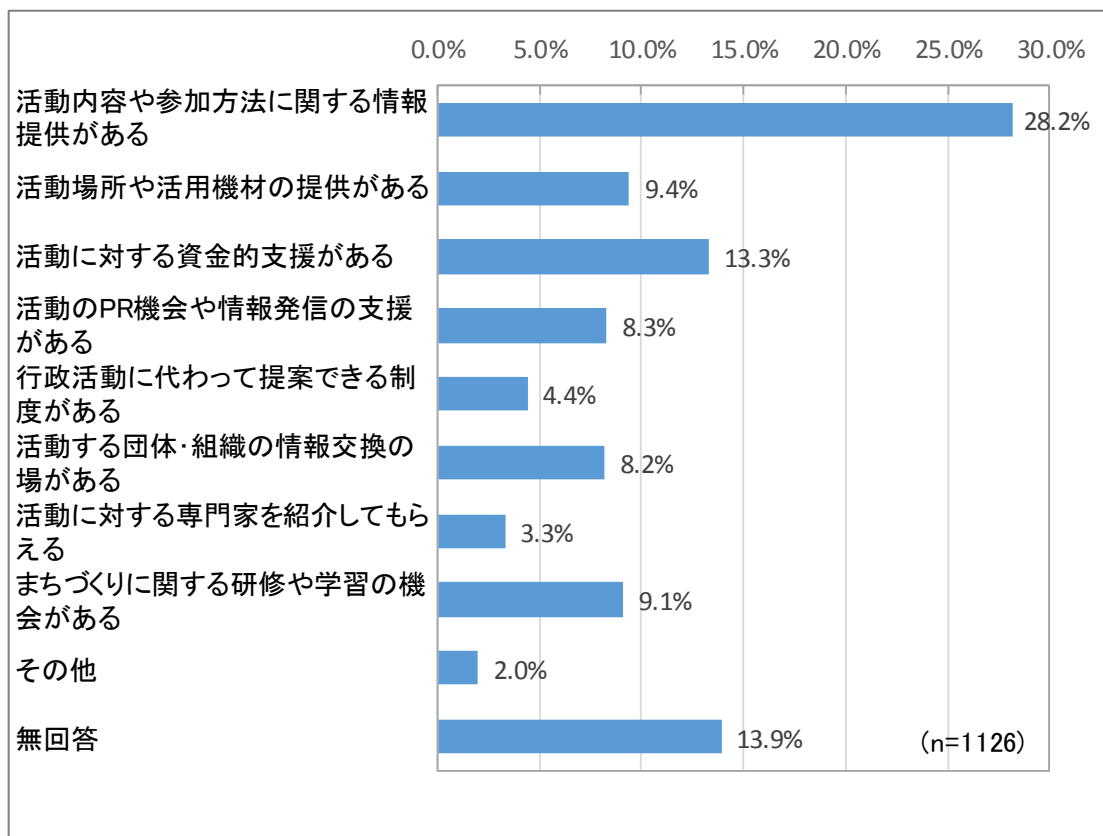
<参考：H17 アンケート調査との比較>



5-5. あなたは、住民がまちづくり活動に参加していくために、どのような条件が必要だと思いますか。

「活動内容や参加方法」に関する情報の充実  
 資金や機材をはじめとする活動支援がほしい

住民のまちづくり活動を推進するためには、「活動内容や参加方法」など情報の提供と「活動資金」や「場所や機材」など活動を支援する体制が求められている結果でした。



## 6. 村の行財政について

### 6-1. 財政が厳しい中でも自立した村づくりを進めていくため、どんな取り組みが必要だと思いますか。

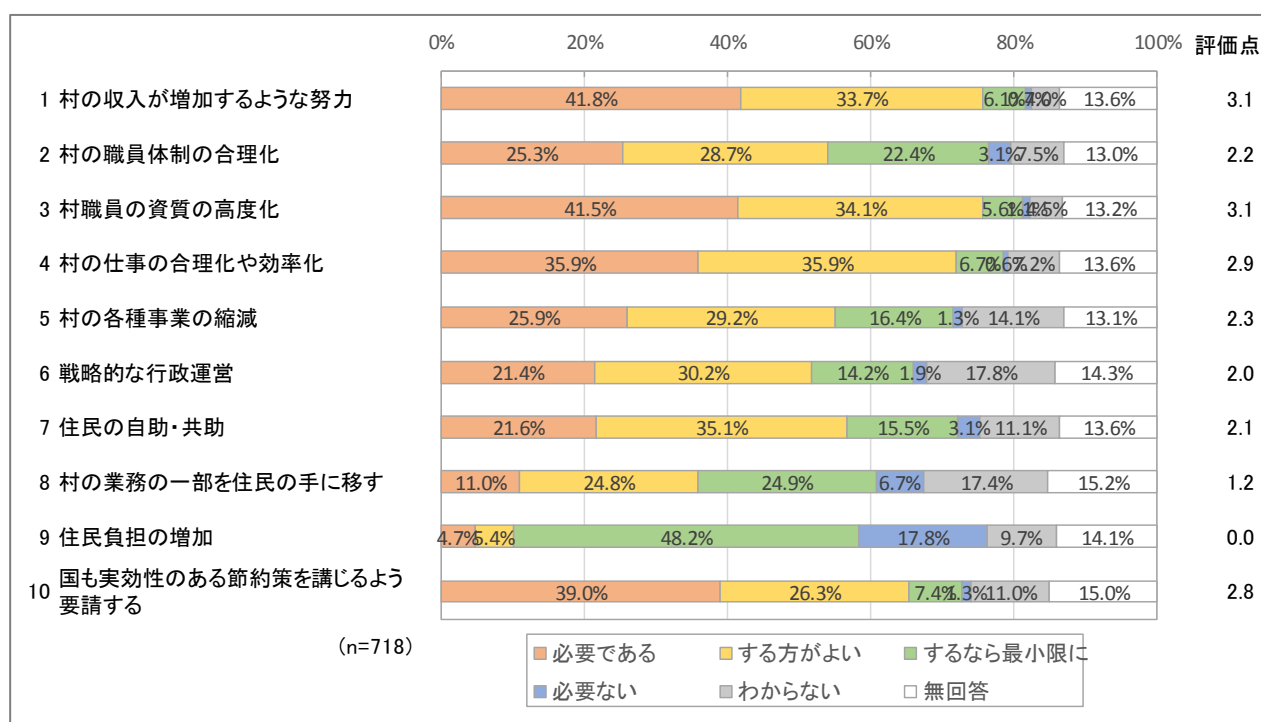
「村の収入を増やす努力」と「村職員の資質の高度化」「仕事の合理化、効率化」の追求  
「村づくりの将来ビジョン、戦略」の明確化が課題

村の行財政については、「税込」を確保できるよう努力することと同時に村職員の資質の高度化、業務の合理化・効率化が最も多く寄せられました。

また、「将来の村づくりのビジョンや経営戦略を持つこと」や「国の支援に頼らない自立した行政経営」「合併の是非」など様々な提言が寄せられました。

一方、10年前のアンケート結果と比較すると、「村の各種事業の縮減」「戦略的な行政運営」「住民の自助・共助」について、必要性が高くなりました。

これらの結果を踏まえ、「第5次総合計画」の中で、村づくりの将来ビジョンや村づくり戦略について打ち出していくこと、職員の意識や姿勢の向上、効率的・効果的な行政運用に努めるところが課題となります。



<参考：H17 アンケート調査との比較>

	必要である		する方がよい		するなら最小限に	
	平成26年	平成17年	平成26年	平成17年	平成26年	平成17年
村の収入が増加するような努力	41.8%	42.5%	33.7%	23.3%	6.1%	8.7%
村の職員体制の合理化	25.3%	29.7%	28.7%	25.7%	22.4%	17.1%
村職員の資質の高度化	41.5%	42.5%	34.1%	28.6%	5.6%	5.3%
村の仕事の合理化や効率化	35.9%	37.5%	35.9%	29.9%	6.7%	7.1%
村の各種事業の縮減	25.9%	25.7%	29.2%	25.8%	16.4%	15.9%
戦略的な行政運営	21.4%	19.8%	30.2%	22.5%	14.2%	16.7%
住民の自助・共助	21.6%	18.5%	35.1%	27.4%	15.5%	17.1%
村の業務の一部を住民の手に移す	11.0%	14.1%	24.8%	24.8%	24.9%	19.1%
住民負担の増加	4.7%	5.2%	5.4%	5.1%	48.2%	44.1%
国も実効性のある節約策を講じるよう要請する	39.0%	44.2%	26.3%	21.0%	7.4%	4.8%

	必要ない		わからない		無回答	
	平成26年	平成17年	平成26年	平成17年	平成26年	平成17年
村の収入が増加するような努力	0.7%	1.5%	4.0%	4.8%	13.6%	19.1%
村の職員体制の合理化	3.1%	3.4%	7.5%	5.2%	13.0%	18.9%
村職員の資質の高度化	1.1%	1.6%	4.5%	2.9%	13.2%	19.1%
村の仕事の合理化や効率化	0.6%	1.5%	7.2%	3.7%	13.6%	20.2%
村の各種事業の縮減	1.3%	3.0%	14.1%	8.5%	13.1%	21.1%
戦略的な行政運営	1.9%	5.7%	17.8%	11.6%	14.3%	23.6%
住民の自助・共助	3.1%	4.9%	11.1%	10.7%	13.6%	21.4%
村の業務の一部を住民の手に移す	6.7%	9.3%	17.4%	11.2%	15.2%	21.4%
住民負担の増加	17.8%	19.7%	9.7%	5.9%	14.1%	20.1%
国も実効性のある節約策を講じるよう要請する	1.3%	2.0%	11.0%	6.3%	15.0%	21.8%

平成17年より割合が増加	
平成17年より割合が減少	